



市の花
なのはな



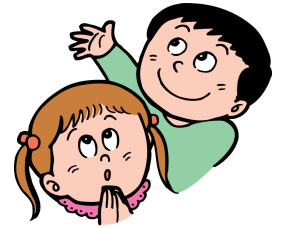
市の木
さくら



市の鳥
ひばり

つくばみらいの

学校紹介



～豊小学校～

第3回



守谷市から県道野田牛久線を北上し、小貝川を越えると広々とした田園地帯が見てきます。その田園地帯を背に県道沿いに建てられているのが「つくばみらい市立豊小学校」です。本校の南側から西側そして北側と初夏から初秋にかけては、青々とした田が緑の美しさをおとして季節らしさを一層鮮やかに感じさせてくれます。初秋から冬にかけては、北側に筑波山の紅葉が見え、自然の美しさを満喫させてくれます。

今年で創立121年目を迎えた本校は、明治19年学校改革により明治7年から続いてきた青古新田小学校、狸淵小学校、弥柳小学校、下小目小学校が合併し、豊体尋常小学校として開校しました。

現在本校は、児童数119名、教職員14名で、本校の教育目標としては、「あかるく、かしこく、たくましく」を校訓とし、それぞれ徳育・知育・体育の調和の取れた学校経営を目指しています。具体的には、「明るく元気で思いやりのある子」・「自ら進んで学習に取り組む子」・「心身ともに健康でたくましい子」をめざす児童像とし、豊かな心の育成、確かな学力と豊かな表現力の育成、健康と体力の向上、国際理解教育の充実、情報教育の充実の5項目を重点目標、そのうち前記3項目を最重点目標として全職員が一丸となって力を注いでいます。

教師陣も「使命感にあふれる情熱のある教師」・「研修に励み指導力のある教師」・「心豊かな信頼される教師」を目指す教師像として日々、児童の指導・支援に全力で取り組んでいます。

さらに「特色ある学校」として、「県立伊奈養護学校」との交流や地域との交流を含めた「ゆたか祭り」があります。このうち「県立伊奈養護学校」との交流は、「豊かな心の育成」の一環として今年度で12年目を迎えています。また、「ゆたか祭り」は、PTAをはじめ、世代間の交流を含めた地域の方との交流をおとして、「開かれた学校づくり」の一環として取り組んでいます。

現在本校は、平成18年度から3年間にわたり市教育委員会の指定を受け「伝え合う力を高めるための指導法の在り方」をテーマとして、国語科における研究に取り組んでいます。

また、児童には多くの体験学習をさせたいと考え、本校ではまず4年生を対象として県環境政策課主催の環境教育の体験学習を実施しました。この事業は、「キッズミッション」と題し、専門のインストラクターが来校し、環境問題について模型を使ってリサイクルのしくみや二酸化炭素の多くなってしまいう原因など体験をもとに学習するものです。子どもたちは、模型や紙芝居をおとし、興味を持って取り組んでいました。

さらに、県に1台と言われている「地震体験車」をおとし、全児童がこの地震体験車に乗り、地震の大きさや恐怖などを体感し、災害の予防として学習しました。

夏の時期には、「着衣泳」として、実際に水難にあったときのことを想定して服を着たまま泳ぐ体験学習をしています。

4年生や6年生は、「田植え」を体験することにより、米作りの苦労や工夫を学習しています。これには、地元の方のご協力をいただき実施していますが、保護者の方々が大変協力的で米作り以外にもPTAをはじめ地域の方が資源物の再生収集など積極的にご協力をいただける大変ありがたい面もあります。

今後は、校内研修をさらに充実させるとともに発展させていきますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



▲今年度から始まったキッズミッション



▲着衣泳の学習